

第4次沼津市総合計画の総括について

資料1

【基本構想・基本計画】 【後期推進計画主要事業】 ※70事業の事務事業評価

※No.の網掛けは重点推進事業

計画No.	事業名	事業内容	5カ年計画の進捗
1	ぬまづエコ活動推進事業	エコ活動の普及促進や環境市民大学など環境教育の実施	2
2	ぬまづの森整備事業	市民協働による植樹や苗木の栽培を実施し地球温暖化防止対策の推進を図る	2
3	3R推進事業	3Rの推進や啓発、環境教育の実施	2
4	中間処理施設整備事業	安全で環境負荷の少ない新処理施設の整備検討	3
5	公共下水道整備事業	計画的な下水道の整備による汚水処理対策の推進	3
6	公共交通活性化対策事業	公共交通機関の運行補助やまちづくり戦略の将来像を考慮した、持続可能な公共交通ネットワークの検討	2
7	総合的治水対策整備事業	河道改修や排水機場、雨水貯留池などの整備	3
8	落橋防止対策事業	橋桁の落橋防止装置の設置等の橋梁の耐震化を実施	2
9	橋梁長寿命化事業	橋梁の計画的な点検・補修の実施	2
10	岡宮北土地区画整理事業	土地区画整理事業による岡宮地区における住宅地創出、交通網の整備	3
11	既存建築物等耐震化促進事業	木造住宅等の耐震改修やブロック塀の撤去・改善	3
12	水道施設更新(耐震化)事業	老朽化した水道施設の更新や耐震化の促進	2
13	津波対策事業	津波避難ビルの指定や津波避難路の整備などの実施	2
14	公共施設地震津波対策事業	公共施設の耐震化や移転などの地震・津波対策の実施	2
15	公共施設マネジメント推進事業	施設管理の基本方針である公共施設マネジメント計画の策定	完了
16	災害時通信システム増強事業(同報無線デジタル化)	防災情報を提供するデジタル同報無線の整備	2
17	安全な地域づくり推進事業	地域ごとの災害避難行動計画の策定	3
18	男女共同参画推進事業	男女共同参画の実現に向け市民・企業・学校における教育セミナーなどの実施	2
19	地区センター整備事業	地域コミュニティ活動の拠点となる地区センター(18地区)の整備	2
20	こども医療費助成事業	0歳児から高校3年相当年齢の児童の医療費(保険診療による自己負担分)を助成	1
21	地域子育て支援事業	一時預かり保育、乳幼児・保護者同士のふれあいの場の創出・育児相談などの支援	2
22	多様な保育サービス事業	民間保育所等に対する支援による延長保育や休日保育などの保育サービスの拡充	2
23	言語教育による読解力・表現力育成事業	言語教育の充実によるコミュニケーション能力の育成	2
24	チーム学校実現事業(がんばる学校応援事業)	支援員の配置や地域交流推進・外部人材活用した各校での独自の取組を支援	2
25	学校規模・学校配置適正化推進事業	小中学校の適正規模・配置の方針策定、具体検討の実施	2
26	出会い応援事業	婚活イベントや「縁結び隊」による結婚相談の実施	2
27	未来の担い手育成事業	高校生と地元団体・企業等との連携によるまちの賑わい創出イベント等への支援	2
28	若者世代住宅取得促進事業	若者世帯の定住促進対策として住宅取得やリフォームに対する支援	2
29	市民の国際力向上事業	乳幼児英語ふれあい教室や英検受験料補助などの実施	2
30	健康づくり推進事業	自発的に健康づくりに取組める教室の実施や健康情報の提供などを実施	2
31	新屋内温水プール整備事業	老朽化した屋内温水プールの改築や利活用の検討	3
32	興国寺城跡保存整備事業	興国寺城跡の公有化や発掘等の整備、利活用の検討	2
33	長浜城跡保存活用事業	長浜城北条水軍まつりや現地説明会などの実施	2
34	松城家住宅保存修復事業	保存活用計画に基づく修理工事の実施や、地域振興の拠点としての活用検討	2
35	香陵公園周辺整備事業	新市民体育館や香貫駐車場の建替えや周辺施設の一体的な整備を検討・推進	2
36	地域福祉推進事業(福祉の人づくり推進事業)	地域福祉活動のリーダー養成講座やボランティア入門講座 などの開催	2
37	高齢者の健康長寿推進事業	生きがいと健康づくりや介護・認知症予防のための各種教室などの開催	2
38	高齢者地域包括ケアシステム整備事業	地域における地域包括ケアシステム整備や基幹型地域包括支援センターの設置	2
39	生活困窮者自立支援事業	関係機関と連携し母子家庭やひきこもりなど、将来困窮する恐れのある市民を早期把握、支援	2

【沼津市のまちづくり指標】 ※30の指標による政策評価

指標	基準値	目指す方向	現況値	推移
①定住人口	210,426人 (H23.2.21)	→	195,039人 (H21.2.21)	↘
②JR沼津駅利用者数	802万1千人 (H21)	↗	764万3千人 (H29)	↘
③昼夜間人口比率	1.081 (H17)	↗	1.07 (H27)	↘
④沼津市に暮らし続けたいと思う市民の割合	0.836 (H22)	↗	0.78 (H30)	↘

指標	基準値	目指す方向	現況値	推移
⑤年間温室効果ガス排出量	1,633千t-CO2 (H19)	↘	1,602千t-CO2 (H27)	↘
⑥省資源・省エネ・節水に心がけている市民の割合	89.8% (H22)	↗	86.7% (H30)	↘
⑦市民一人が1年間に出すごみの量	344kg (H21)	↘	313kg (H29)	↘
⑧生活排水を適正に処理している市民の割合	65.0% (H21)	↗	77.1% (H29)	↗

⑨災害に備えている市民の割合	45.7% (H22)	↗	52.1% (H30)	↗
⑩人口千人あたりの市内犯罪発生件数(刑法犯)	15.9件 (H21)	↘	8.6件 (H29)	↘
⑪人口10万人あたりの交通事故発生件数(人身事故)	1,069.6件 (H21)	↘	916.4件 (H29)	↘
⑫緑が多いと感じる市民の割合	45.7% (H22)	↗	47.0% (H30)	↗
⑬新規住宅着工件数	686件 (H21)	↗	724件 (H29)	↗

⑭地区センター稼働率	42.7% (H21)	↗	37.7% (H29)	↘
------------	-------------	---	-------------	---

⑮ファミリー層の流出入状況	-233人 (H22)	↗	-151人 (H30)	↗
⑯子育てしやすい環境にあると感じている市民の割合	62.9% (H22)	↗	74.7% (H30)	↗
⑰市内小中学校の不登校児童・生徒の率	1.6% (H21)	↘	2.00% (H29)	↗

⑱メタボリックシンドローム該当者の割合	15.1% (H20)	↘	16.9% (H29)	↗
⑲定期的に運動をしている市民の割合	42.5% (H22)	↗	44.9% (H30)	↗
⑳余暇を活用して生涯学習を行なっている市民の割合	38.7% (H22)	↗	37.4% (H30)	↘

㉑ボランティア活動への参加率	16.3% (H22)	↗	13.0% (H30)	↘
㉒介護を必要としない高齢者の割合	87.3% (H21)	↗	84.9% (H29)	↘

1章の総括

環境にやさしいまちを目指し、環境基本計画に基づき、地球温暖化などの対策として市民協働による植樹や環境市民大学の実施など、エコ活動や環境教育の推進に努めた。
また、市民が安心安全に暮らせるために、東日本大震災を踏まえた地震・津波対策として、避難路・避難地の整備、津波避難ビルの指定、市内全戸へのハザードマップの配付、西浦保育所の高台移転や築山の整備などを行った。

第1章のまちづくり指標については、市民一人当たりのごみの排出量などの「環境にやさしいまち」に関する指標、災害に備えている市民の割合や交通事故件数などの「安全・安心で快適に暮らせるまち」に関する指標が基準値を上回り、**環境や災害に対する市民意識の向上などに一定の成果が見られた**と考える。

2章の総括

市内18地区への地区センター整備が完了するとともに、子育て支援については18歳までの子ども医療費の無料化、民間保育所等における各種保育サービスの充実、放課後児童クラブの整備推進、教育環境については言語教育の推進、外部人材等を活用した地域交流授業の推進、静岡小中一貫校の整備などを実施した。
また、健康増進と疾病予防、妊娠・出産の包括的支援、食育の推進、介護・認知症予防のための各種教室の実施、地域のボランティア養成などの健康・福祉の充実、帯笑園や長浜城跡、松城邸などの文化資源の保存整備を行った。

第2章のまちづくり指標については、**「ファミリー層の流出入状況」と「子育てしやすい環境にあると感じている市民の割合」が改善傾向**にあり、子育て支援などは今後も継続して推進していく必要がある。「メタボリックシンドローム該当者の割合」や「介護を必要としない高齢者の割合」などの**疾病や介護予防、市民の自発的ないきがい活動などに関する指標は悪化しているため、更なる健康増進や生きがい支援等が必要**である。

計画NO	事業名	事業内容	5カ年計画の進捗
40	物産振興推進事業	沼津自慢フェスタなど物産キャンペーンの実施や新たなブランド品等の研究開発	2
41	イベント展開事業・にぎわい創出支援事業	沼津夏まつりや戸田さんさんまつりなど沼津を内外へアピールする各種イベント開催支援	2
42	海の魅力発信事業	大瀬まつりや戸田港まつりなど海に関するイベントの実施、支援	2
43	沼津港みなとまちづくり推進事業	水産祭等催事などの支援や海上タクシー試験運航実施、観光バスの新しい受け入れ体制構築	2
44	まちなかにぎわい創出事業	まちなかににぎわい創出に取り組む商店街関係者、各種団体等の支援や中央公園、狩野川右岸階段堤をにぎわいの場としての利活用	2
45	沼津駅南土地地区画整理事業	沼津駅付近鉄道高架事業と併せて駅南地区の区画整理の実施	2
46	静岡東部拠点土地地区画整理事業	沼津駅付近鉄道高架事業と併せて駅北地区の区画整理やブラサヴェルデの整備を実施	2
47	鉄道高架事業(施設整備事業)	新貨物ターミナル移転先用地の取得推進や鉄道跡地や高架下の利用方法の検討	3
48	鉄道高架事業(新貨物駅基盤整備事業)	新貨物ターミナル移転先用地の買収や土地物件調査の実施	3
49	鉄道高架事業(新車両基地基盤整備事業)	新車両基地移転先用地の買収や周辺生活基盤(道路・河川)の整備	2
50	道路ネットワークの推進	スマートインターチェンジの整備や東駿河湾環状道路西区間、国道414号静岡バイパス等の整備に合わせた道路ネットワークの構築	完了
51	(都)納米里本田町線道路改良事業	沼津駅を中心とする都心部の体系的な交通網の構築を図るための道路改良工事の実施	3
52	(都)沼津南一色線道路改良事業	高尾山古墳と高規格道路の一体的な整備の検討と実施	3
53	(都)金岡浮島線道路改良事業	主要地方道三島富士線のバイパスとしての役割を担う道路改良整備	2
54	(都)片浜西沢田線道路改良事業(高架関連)	片浜地区の南北幹線道路整備における用地取得などの実施	2
55	(都)原駅町沖線道路改良事業(駅前広場)	本市の西の交通拠点としての機能強化のためのJR原駅の駅前広場整備	3
56	北西部地区まちづくり推進事業	大型商業施設区域内の基盤整備の実施や連携策(情報発信、中心市街地・沼津港との連携)の検討	2
57	原・浮島地区まちづくり推進事業	原・浮島地区における道の駅の検討(導入すべき機能、建設候補地等の検討)	3
58	シティプロモーション推進事業	まち全体のイメージアップを図るための情報発信(観光プロモーション動画の作成・発信やフィルムコミッションの推進)	2
59	市街地再開発推進事業 (町方町・通横道町地区第一種市街地再開発事業)	町方町・通横道町地区における再開発事業による居住人口の拡大や中心市街地の回遊性の向上を図る	3
60	健康・文化・交流ゾーン形成事業	香陵エリアとまちなかの連携や狩野川及び護岸の利活用検討	2
61	外国人等受入環境整備事業	wifi環境の整備や多言語ポータルサイト等情報発信環境の整備、運営によるおもてなし環境の整備	2
62	ぬまづ暮らし住み替え促進事業	移住相談受付やタクシーによる現地案内、首都圏開催の移住相談会への出展の実施	1
63	海と水辺を活かす沼津の宝顕在化事業	深海魚などを活用した沼津の魅力発信やまちあるきマップの作成・普及	2
64	公共施設公民連携推進事業	市所有の公共施設の効率的・有効的活用の検討(旧少年自然の家の利活用)や公民連携の導入スキームの検討	2

65	企業立地促進事業	企業立地を促進するための補助制度拡充や企業立地の受け皿となる工業用地の開発可能性を検討	2
66	起業創業支援事業	企業やまちづくりに関する知識・手法を学ぶセミナーの開催や産業支援機関と連携し、起業・創業しやすい環境づくりの推進	2
67	市営漁港機能保全事業	市営漁港について、水産物供給基盤機能保全計画に基づく改修、その他必要な維持修繕等を実施	3
68	リノベーションまちづくり推進事業	リノベーションスクール等を通じた遊休不動産活用の実事業化の支援や人材育成	2
69	まちなか起業支援事業	中心市街地における居住を支えるサービスに係る担い手の育成、女性や学生向けの起業支援策を検討・実施	2
70	民間支援まちづくりファンド事業	市民等が自発的に行う活動に対し、ソフト・ハード両面からの補助金支援と専門家による助言等によって持続的な事業の支援を実施	2

5力年の後期推進計画(70事業)に対する進捗評価

完了	2事業(2. 9%)
1 計画以上の進捗	2事業(2. 9%)
2 ほぼ計画どおり	51事業(72. 9%)
3 計画から少々遅れ	15事業(21. 4%)
4 大幅な遅れ	0事業

※8割の事業がほぼ計画どおりに進捗
2割の事業が少々遅れ

指標	基準値		目指す方向	現況値		推移
㊸市HPへのアクセス件数	740,336件	(H21)	↗	1,029,148件	(H29)	↗
㊹観光入込客数	360万0千人	(H21)	↗	462万4千人	(H29)	↗
㊺中心市街地の歩行者自転車通行量	6万8千人	(H22)	↗	6万4千人	(H30)	↘

②⑤年間商品小売販売額	24,840千万円 (H19)	→	23,100千万円 (H28)	↘
②⑦製造品出荷額	67,704千万円 (H20)	↗	54,513千万円 (H28)	↘
②⑧西浦みかんの販売金額	1,325百万円 (H21)	↗	1,527百万円 (H29)	↗
②⑨ぬまづ茶の販売金額	975百万円 (H22)	→	735百万円 (H30)	↘
③⑩沼津魚市場取扱高	16,498百万円 (H21)	↗	11,653百万円 (H29)	↘

まちづくり指標(30指標)の評価

全体指標(4指標)	悪化4	
第1章(9指標)	悪化1	良化8
第2章(9指標)	悪化6	良化3
第3章(8指標)	悪化5	良化3

悪化16(53. 3%) 良化14(46. 7%)

※指標②「沼津駅利用者数」、⑳「ぬまづ茶の販売金額」
 ㉑「沼津魚市場取扱高」などのように、社会情勢や経済
 状況の変化を受け、実績が大きく変化してしまうもの
 もあり、指標の内容や測定方法、目標値の設定の
 妥当性などの課題も見られる。

3章の総括

まちづくりでの観点では、鉄道高架事業の進展(新貨物駅整備予定地の土地収用法第35条調査着手)、「プラサヴェルデ」のオープン、東名愛鷹スマートIC・新東名駿河湾沼津スマートICの開設、市立病院東側への大型商業施設設け地の促進、道の駅「くるら戸田」のオープン、東駿河湾環状道路西側区間整備の事業化、(都)沼津南一色線の古墳との両立整備の調整、県による沼川新放水路の整備着手など、基盤整備の推進に取り組んだ。

また、狩野川階段堤「水のテラス」や中央公園でのイベント開催などの公共空間の利活用の促進、民間支援まちづくりファンドによる市民等の自発的活動の支援などにより、賑わい創出に取り組むとともに、コンベンションやロケ誘致をはじめとする観光・シティプロモーションや情報発信の強化、海や深海魚を活用したイベントの開催支援、沼津の宝100選による地域資源の顕在化や、沼津御用邸記念公園の名勝指定、文化資源のイベント活用、サイクリストの誘致や沼津港の振興（年間166万人）などによる交流人口の拡大に取り組んだ。

そして、遊休不動産を活用したりノ
ベーションまちづくりの推進と事業化
の支援、女性や若手を対象とした起
業創業支援セミナーの開催、仕事応
援サイト開設による市内企業への就
労支援、農産物の地産地消の推進、
沼津自慢フェスタ開催による沼津の
物産の振興などに取り組んだ。

第3章のまちづくり指標について
は、市HPのアクセス件数及び観光入
込客数は基準値より増加している
が、中心市街地の歩行者自転車通
行量は減少しており、ハード・ソフト面
による中心市街地の活性化による
人の集客が課題といえる。また、「活
力あふれるまち」に関する指標は、
「ぬまつ茶の販売金額」など社会情
勢や経済状況の変化に伴い、実績が
大きく変化してしまう指標が多いが、
基準値を下回っている指標が多いこ
とから、新たな産業の創出や販路の
整備、特産品開発などによる販売金
額や取扱量の増加が課題である。

全体的な総括

推進計画に位置付けた事業については、ハード整備等において遅れが見られる事業があるものの、事業実施の観点からは着実にまちづくりは進捗し、各分野にわたって概ね一定の成果を上げることができたものとする。

第4次総合計画策定時において課題に掲げた「交流人口の拡大」、「環境との共生」、「安全・安心なまちづくり」に関しては一定の成果が伺えるものの、定住人口の確保については、ファミリー層が依然として転出超過であり、沼津に暮らし続けたいと思う市民の割合も減少傾向にあることから、市民生活の充実や、自分らしいライフスタイルが実現できる魅力と活力ある拠点都市の形成が求められている。